



株式会社 紀陽銀行

平成29年6月発行
経営企画部 広報・CSR推進室
〒640-8656 和歌山市本町1丁目35番地
TEL.073-426-7133
<http://www.kiyobank.co.jp/>

第207期
営業のご報告

KIYO

ミニ・ディスクロージャー誌
平成28年4月1日から平成29年3月31日まで



いつでもお客様のそばへ飛んでいこう、と思う。
地元を、盛りあげようとする人がいる。
ならば私たちは、
その人の理想をかなえる力になろう。
どんな課題にも、本気で向き合い
そこまでやるかと言ってもらえる銀行に。
わたしたちは、お客様の期待を、こえてゆきたい。

いつでも境界線を乗り越えたい、と思う。
わたしたちは、地元を知っている。
そこに暮らすお客様同士を結びつける、
その方法を知っている。
結びつける地域が大きくひろがっても
どこまでも力になれる銀行に。
わたしたちは、地域の壁を、こえてゆきたい。

いつでも新しい世界へ跳躍したい、と思う。
歴史を紡いできた誇りを胸に
けれども、いままで通りの銀行とは違う、
そんな道を選びたい。
たんなる金融機関ではない
人生を丸ごとまかせてもらえるような銀行に。
わたしたちは、銀行という枠を、こえてゆきたい。

銀行をこえる銀行へ

ごあいさつ



取締役頭取 **松岡 靖之**

皆さまには平素より紀陽銀行をはじめ紀陽フィナンシャルグループをお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび、すべてのステークホルダーの方々に当行に対するご理解を一層深めていただくため、「平成29年3月期 ミニ・ディスクロージャー誌」を作成いたしました。業績や最近の当行の取り組み状況などをまとめておりますので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

さて、昨今の国内経済につきましては、世界景気の回復を背景に企業収益が改善し、設備投資に持ち直しの動きがみられる中、個人消費においても、雇用・所得環境が堅調に推移するもとで底堅く推移し、緩やかな回復基調となりました。また、先行きについては、アメリカの政権運営や、中国やアジア新興国等の経済の不確実性など、海外の政治・経済動向に一部不透明感が残るものの、国内の企業収益や設備投資の底堅さを背景に、引き続き雇用・所得環境の改善傾向が続くもとで、緩やかながらも回復基調が持続することが期待されております。

一方、地方経済は少子高齢化の進展や人口の減少などによる社会的構造変化が進む中、地域金融機関におきましては、金融仲介機能の発揮はもとより、積極的な地方創生への取り組みを通じ、地域とともに成長する持続可能なビジネスモデルの実現が求められております。

このような中、当行グループは目指す銀行像「銀行をこえる銀行へ(お客様の期待や地域の壁をこえ、銀行という枠をこえることを目指す)」の基本方針のもと、地域の皆さまに対するより一層の金融仲介機能の発揮や本業支援の強化を通じて、皆さまの発展および地域経済の活性化に貢献できるよう努めるとともに、地元地域における当行の存在感の向上を目指し、全役職員が一丸となって積極的に取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月

ミニ・ディスクロージャー誌
平成29年3月期 営業のご報告

目次

- ごあいさつ3
- 第4次中期経営計画4
- 紀陽銀行について5
- 業績ハイライト7
- 法人のお客様へ9
- トピックス11
- 個人のお客様へ13
- 地方創生に向けた取り組み15
- CSR活動17
- 財務諸表19
- ネットワーク21
- 株式情報22

※本冊子に記載している計数は、原則として単位未満を切り捨てて表示しています。

第4次中期経営計画

平成36年3月期までの長期的な展望のなかで、目指す銀行像を「銀行をこえる銀行へ」と定め、その実現に向けて邁進してまいります。



紀陽銀行について

地域における更なる「存在感の向上」を目指して。

歴史に裏打ちされた実績を積み重ねてまいりました。

122年の歴史があります。
(平成29年6月15日現在)

明治28年5月
株式会社紀陽貯蓄銀行設立

67年前から大阪へ出店。

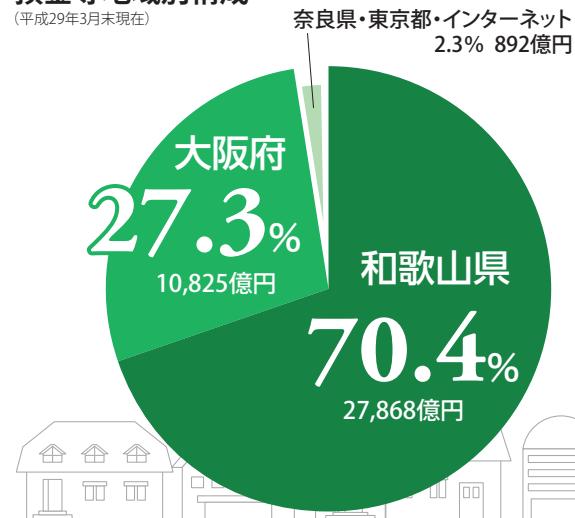
昭和25年6月
初の大阪府下店舗を開設

店舗網の数
(インターネット支店含む)
(平成29年3月末現在)

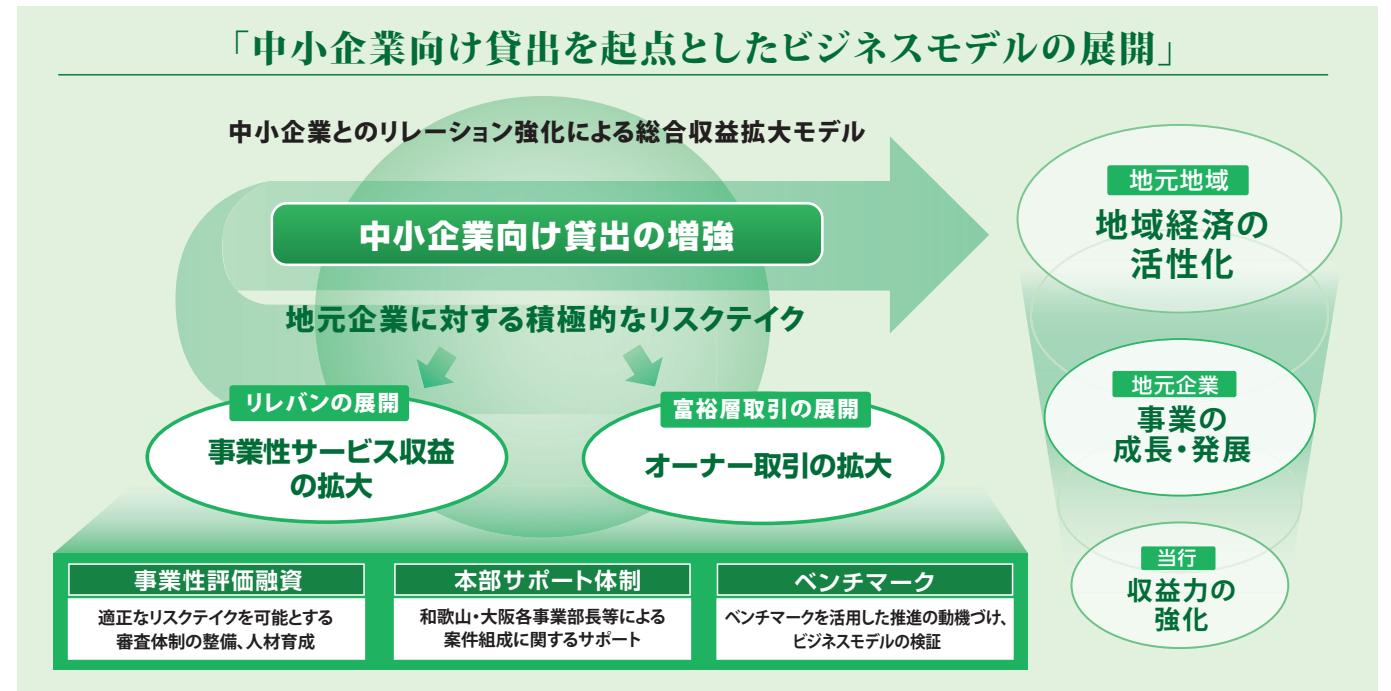
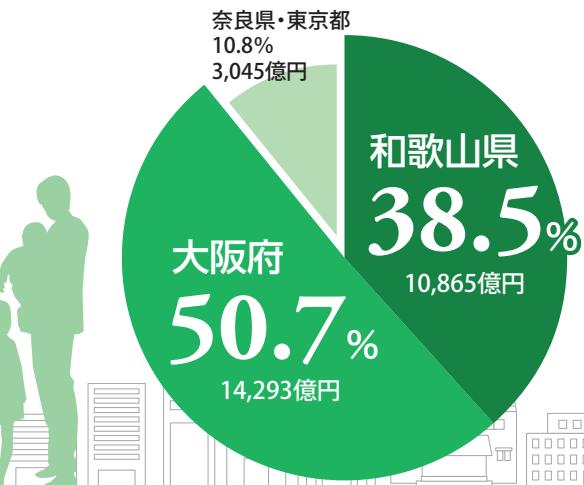


地域とともに成長する戦略が浸透してまいりました。

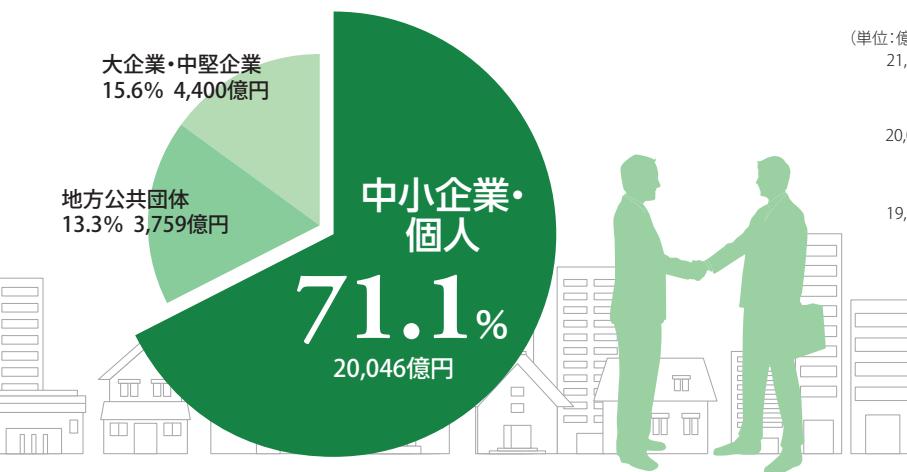
預金等地域別構成
(平成29年3月末現在)



貸出金地域別構成
(平成29年3月末現在)



中小企業・個人のお客さまへの融資の状況
(平成29年3月末現在)



中小企業等貸出金残高の推移

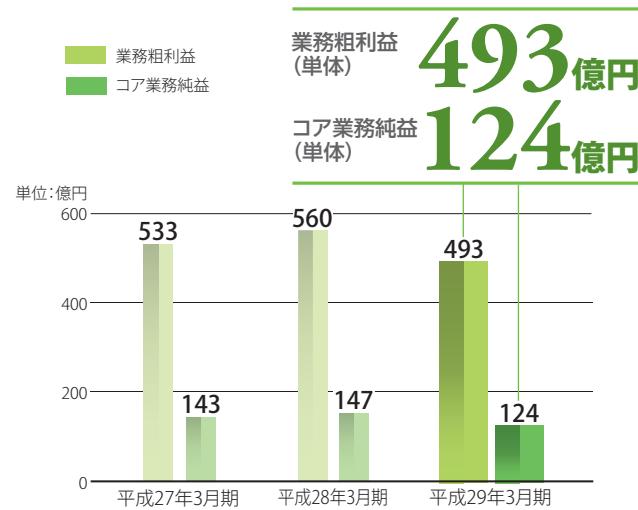


※中小企業等貸出金とは、資本金3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品賃貸業等は5千万円)以下の会社または常用する従業員が300人(ただし、卸売業、物品賃貸業等は100人、小売業、飲食業は50人)以下の会社および個人への貸出金

業績ハイライト

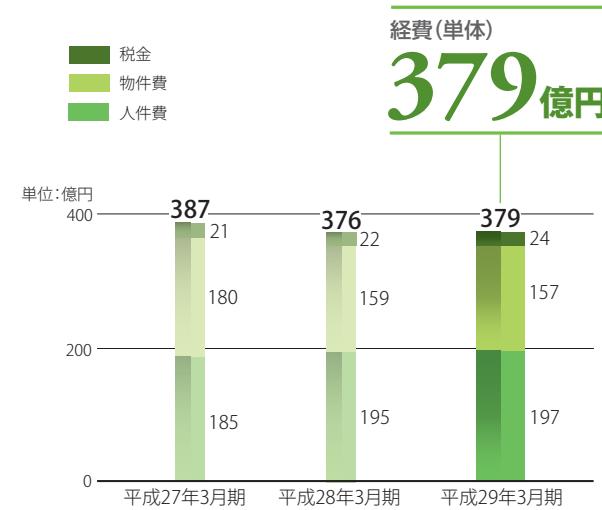
業務粗利益・コア業務純益(単体)

業務粗利益は、役務取引等利益が増加となる一方、資金利益や債券関係損益の減少などから、前期比67億円減少の493億円となりました。



経費(単体)

経費は、人員増加等による人件費の増加などにより、経費全体で前期比3億円増加の379億円となりました。



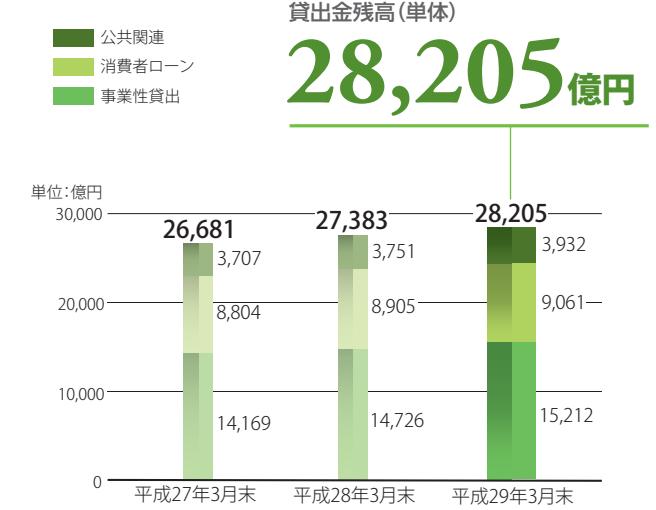
預金等残高(単体)

預金等残高は法人預金を中心に増加し、前期末比239億円増加の3兆9,586億円となりました。



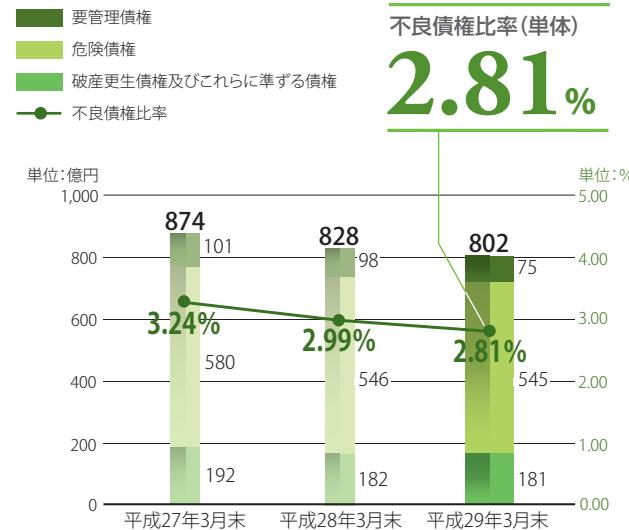
貸出金残高(単体)

貸出金残高は、前期末比822億円増加の2兆8,205億円となりました。



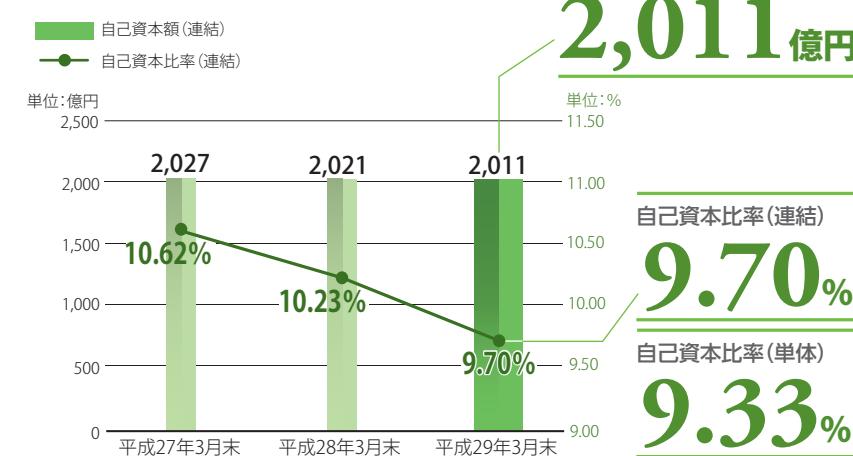
不良債権比率(単体)

不良債権残高は前期末比26億円減少し、802億円となりました。不良債権額802億円のうち、81.6%は、担保や引当金等で保全されています。



自己資本額・自己資本比率(連結)

自己資本額(連結)は2,011億円となり、自己資本比率(連結)は9.70%となりました。



外部格付

紀陽銀行では、株式会社日本格付研究所(JCR)と株式会社格付投資情報センター(R&I)から格付上位のAランクを取得しています。



用語解説

- 要管理債権**
3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権
- 危険債権**
債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権
- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権**
破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権
- 外部格付**
外部格付とは、第三者の格付機関が、銀行や企業の「安全度」をランク付したものです。

法人のお客さまへ

お客さまそれぞれの事業ステージに合わせたサービスをご提供しています。



創業期

起業・新事業をサポート

創業支援セミナー in わかやま

当行が参画している「創業支援セミナー in わかやま」実行委員会では、和歌山県内で創業を考えられているお客さまや創業後間もないお客さまに向けて創業支援セミナーを開催。また、具体的な事業創出のためビジネスプランコンテストを開催しています。



創業者支援総合スキーム

地域で創業をお考えのお客さまを対象に、日本政策金融公庫、信用保証協会等との連携により、事業計画の策定から低金利のご融資のご提案、また、事業開始後のさまざまな課題解決のお手伝いまで積極的に支援しています。

クラウドファンディング

「クラウドファンディング」はインターネット上で個人投資家からの事業資金を募る仕組みです。地域の特色ある資源や地場産品を取り扱う事業者さまにご紹介し、販路拡大やファン作りのお手伝いをしています。

各ステージでのお客さまのサポートのために…

事業性評価への取り組み

地域金融機関として期待されるコンサルティング機能を高めるため、お客さまの事業の内容や成長可能性、持続可能性を適切に評価する「事業性評価」を踏まえた取り組みを推進しています。また、株式会社地域経済活性化支援機構(REVIC)の特定専門家派遣制度を活用するなど、事業性評価のノウハウ向上を図っています。

販路開拓をサポート

各種商談会によるビジネスマッチング

食に関する大規模商談会「地方銀行フードセレクション」や、異業種間の交流会等を毎年開催し、お客さまへビジネスマッチングの機会をご提供しています。



サイトによるビジネスマッチング

日本最大級のBtoB技術データベースサイトを運営する株式会社イプロスと提携し、インターネットを通じたビジネスマッチングの支援を展開しています。登録企業の技術・製品等に関する情報を、設計や生産、研究開発に携わる全国の現場エンジニアに発信可能です。月間商談発生件数は約8万件の実績を誇り、お客さまの販路開拓の強い味方となります。

海外進出をサポート

グローバルサポートデスク

海外進出に関するサポート窓口として、コンサルティング会社など外部専門家と提携して商談会や個別相談会を開催。海外現地情報のご提供、海外販売ルートやパートナー企業のご紹介などを行っています。また、海外の有力金融機関との提携により、現地での資金サポート体制も確立しています。

海外向けファイナンス

国際協力銀行(JBIC)との提携によって、お客さまの現地法人に国内から直接ご融資する「クロスボーダーローン」などのサービスをご提供しています。

成長・発展期

新たな事業展開に向けて

紀陽イノベーションサポートプログラム

新たな事業展開を目指して、大学や研究機関と共同開発を行っている事業者の皆さまから研究開発テーマを募集し、優れたテーマに対して事業化までの課題解決など長期にわたりサポートします。

お客さまのニーズに応じて

人材確保の支援

毎年、和歌山大学、近畿大学、桃山学院大学、和歌山工業高等専門学校などと提携し、お取引先企業の会社説明会を開催。企業と学生の出会いの場をご提供しています。



IPO支援

IPO(株式公開)を目指す事業者の皆さまに向けて、グループ会社の紀陽リース・キャピタルと連携し、株式公開の支援を行っています。

省エネ診断・工場診断サービス

企業のエネルギー利用状況を調べて省エネ設備の導入によるコスト削減効果の試算を行う「省エネ診断」や、生産設備や生産体制の効率性等を診断する「工場診断」。当行では、これらのサービスを専門的に行う企業や公的機関を事業者の皆さまにご紹介する活動を実施し、経営の安定と発展のサポートに努めています。

大規模災害対策に向けた支援

「南海トラフ巨大地震」などによる被害予想地域を営業エリアとする当行では、災害・事故時などの事業の継続・早期再開に備えた事業継続計画(BCP)のサポートに力を入れ、事業者の皆さま向けに「大規模地震対応模擬訓練」などを開催しています。災害時の緊急対応能力や危機管理能力の重要性を実感していただくとともに、危機的な状況下における事業継続計画(BCP)についての事例紹介なども行っています。

経営改善・事業承継期

経営改善・事業承継をサポート

経営サポート室

株式会社地域経済活性化支援機構(REVIC)、中小企業再生支援協議会、認定支援機関などの外部支援機関と連携し、営業店と一体となって、お客さまの経営改善計画の策定や経営改善、抜本的な事業再生などの支援に取り組んでいます。



事業承継セミナー

後継者への円滑な事業承継や資産相続に関する法律・税金の問題など、事業者の皆さまの課題解決をサポートするセミナーを開催しています。



M&A支援

事業者さまのM&A(企業合併・買収)についても、M&Aアドバイザー業務や仲介業者のご紹介などにより総合的なサポートに努めています。

お客さまの資金調達とCSR活動をお手伝い

紀陽CSR私募債

平成28年6月より取扱いを行っている「紀陽CSR私募債」は、当行が私募債発行企業さまから受け取る手数料の一部(私募債発行額の0.20%相当額)を拠出し、地域の教育・医療・福祉施設などに寄贈するもので、寄贈対象先はお客さまにお選びいただくことができます。私募債は、財務内容が優れた企業が資金調達する仕組みのひとつであることから、私募債発行企業さまは自社の信用力の向上を図れると同時に、CSR活動にも取り組んでいただくことができます。

トピックス

11 2016 NOV.
月

大阪北支店の店舗移転と
西天満支店への店名変更

11月7日、大阪北支店を店舗移転し、西天満支店と改称して新規オープンいたしました。新店舗は国道1号線「西天満」交差点付近のオフィスビル1階となり、また移転に際して、法人・事業主のお客さま専用の店舗から個人のお客さまにもご利用いただけるフルバンキングの店舗に生まれ変わりました。今後も大阪府内の店舗網の一層の拡充を図ってまいります。



1 2017 JAN.
月 「紀陽モバイル・インターネットバンキング」の24時間化

1月16日より、「紀陽モバイル・インターネットバンキング」(個人のお客さま向け)のご利用時間を平日休日ともに24時間化いたしました。これにより、夜間・休日でもご利用口座の残高照会や当行の本支店宛のお振込の即時入金が可能となりました。

「Yahoo!ウォレット」と連携した
リアルタイム口座振替サービスの取扱い開始

1月12日より、ヤフー株式会社との連携により、オンライン決済サービス「Yahoo!ウォレット」を当行普通預金口座からご利用いただけるリアルタイム口座振替サービスの取扱いを開始いたしました。本サービスは、お客さまが当行普通預金口座を「Yahoo!ウォレット」に登録されることで、「ヤフオク!」や「Yahoo!ショッピング」などによるお支払い時に、ご利用代金を口座より即時に引き落とすことが可能となるものです。また、「Yahoo!マネー」に口座よりチャージすることも可能です。なお、本サービスはお客さまの利便性向上のためのFintech (ITを活用した金融サービス) への取り組みの一環としてスタートいたしました。



2 2017 FEB.
月

「紀陽JCBデビットカード」の
取扱い開始



※カードは2種類のデザインからお選びいただけます。

2月20日より、関西に本店を置く金融機関で初めて、JCBブランドのデビットカード「紀陽JCBデビットカード」の取扱いを開始いたしました。

「紀陽JCBデビットカード」は、ショッピングなどにご利用の都度、ご指定の口座より即時に引き落としとされることが特長で、口座残高範囲内で現金感覚にてご利用いただけるため使い過ぎることがなく安心です。

国内外約3,100万店のJCBマークのあるお店でご利用が可能で、インターネットショッピングにもお使いいただけます。また、海外のATM・CDで預金を現地通貨で引き出すことが可能です。さらに、ご利用額に応じてJCBのポイントプログラム「Oki Dokiポイント」が貯まるなど、多彩なメリットをそなえています。

現金いらずでおトクに使える!
ご利用ごとにご指定の預金
口座から即時引き落とし。
さらにOki Dokiポイントが貯まります!

使いすぎることなく安心して使える!
口座残高の範囲での利用だから
使いすぎる心配はありません。
さらに保険もついて安心。

世界中のお店で便利に使える!
国内外のJCBマークのあるお店で
24時間365日ご利用が可能。
インターネットショッピングでも使えます。

海外でも現地通貨が引き出せる!
紀陽JCBデビットカードを使って、
世界の主要都市に設置されたATM・CDで
現地通貨を引き出せます。

年会費	本人一般カード	1,000円(税別)
	家族一般カード	500円(税別)

※初年度年会費は無料となります。
※次年度以降も所定の条件により無料となります。

3 2017 MAR.
月

「平成28年度 紀陽イノベーション
サポートプログラム」の
採択企業を決定

「紀陽イノベーションサポートプログラム」は、新たな事業展開を目指して大学や研究機関と共同開発を行っている事業者の皆さまから「研究開発テーマ」を募集し、優れたテーマに対して事業計画の策定支援や事業化までの課題解決など長期的なサポートを行う取り組みです。平成28年度は17の事業者さまからご応募があり、和歌山県2社、大阪府3社を採択し、支援計画の策定を開始いたしました。

「購入型クラウドファンディング」
紹介業務の取扱い開始

3月24日より、株式会社サイバーエージェント・クラウドファンディングならびにREADYFOR株式会社との業務提携による「購入型クラウドファンディング」紹介業務の取扱いを開始いたしました。「購入型クラウドファンディング」は、事業者さまが自社の商品やサービスを自らの事業への思いとともに直接消費者に届けることが可能であり、マーケティングへの活用や新たなファンの獲得が期待できます。平成27年より取扱いを行っている「投資型クラウドファンディング」と併せて、地域経済の成長・発展を支援してまいります。

個人のお客さまへ

お客さまのライフステージに応じた商品とサービスをご提供しています。

就職

口座開設アプリ

専用アプリをダウンロードいただくことで、総合口座(普通預金口座)の開設と「紀陽モバイル・インターネットバンキング」のお申込みがスマートフォンからできる便利なサービスです。



積立型定期預金

一定額を無理なくお積立いただける商品をそろえています。指定口座からの自動引落としと随時お預入れの両方が可能な「たくわえ」、3年以内なら自由に積立期間設定が可能で目標金額50万円から自由に設定していただける「ライナー」などがございます。

インターネットバンキング

パソコン、スマートフォン、携帯電話より残高・入出金明細照会、振込・振替、各種料金の払込み、住所変更登録^(※)などのお手続きが可能です。また、住宅ローンの一部繰上げ返済^(※)、固定金利の選択^(※)などが手数料無料でご利用いただけます。
※携帯電話ではご利用いただけません。

各種ローン

■紀陽銀行ローン(目的プラン)

マイカー資金、教育資金、リフォーム資金のほか、家具・家電購入やブライダル資金などさまざまな目的にご利用いただけます。

■紀陽銀行カードローン

急な資金のご利用時などにATMで手軽にご出金いただけます。パソコン、スマートフォンからのお申込みも可能です。

結婚・出産・子育て

子供通帳

お子さまの写真をプリントしたお子さま名義の普通預金口座(オリジナル通帳)を作成させていただきます。

平成30年3月末まで

※写真のサイズはL版横もしくはハガキサイズ横となります。



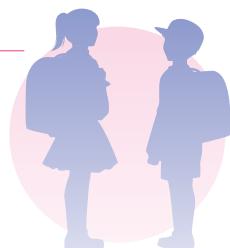
各種保険

けがや病気に備える医療・がん保険、万一の場合に遺されたご家族を支える終身保険・定期保険をはじめ、将来の年金準備のための個人年金保険など、お客さまのライフプランにぴったりの保険をご案内します。



紀陽教育カードローン

お子さまの入学金、授業料や下宿代などにご利用いただけるカードローンです。在学中はローンカードでお借入・ご返済が自由。最高500万円までご利用いただけます。



マイホーム・資産形成

住宅ローン

住宅の新築、増改築、他行や他社の住宅ローンのお借換え資金などにご利用いただけます。疾病保障特約付与タイプや長期固定金利型などさまざまな商品をそろえています。



投資信託・インターネット投信

ゆとりある未来のためにおすすめしたい投資信託。資金の性格や運用目的に合わせた多彩な商品をそろえています。ご自宅で手軽にお取り引き可能なインターネット投資信託は、ご購入時手数料が窓口ご利用の30%OFFです。^(※)

※投資信託自動積立は割引対象外となります。

■専門スタッフとじっくりご相談ください

■紀陽住宅ローンセンター

住宅ローンについてじっくりご相談いただける窓口を、和歌山県・大阪府・奈良県内の全11店舗^(※)に設けています。住宅ローン・住宅金融支援機構に詳しい専門スタッフをそろえ、資金計画のご相談から融資までスピーディーに対応。借換えやリフォームなどについてもお気軽にご相談ください。 ※平成29年3月31日現在



■くらしとお金のことなら何でもご相談ください

■紀陽お城の前の相談室

和歌山城の北向かい、紀陽和歌山中央ビルにある「紀陽お城の前の相談室」。今必要な資金のこと、老後や将来の資金計画など、お金に関するさまざまな疑問や悩みにお応えています。土曜・日曜も営業。税理士・社会保険労務士等による無料相談会も実施しています。



退職・老後

年金定期

当行で公的年金をお受取りのお客さまにご利用いただける定期預金。スーパー定期の店頭表示利率に金利が上乗せされるお得な商品です。



<キヨー>ふれあい倶楽部

当行で年金をお受取りのお客さまにお得なサービスをご利用いただけるサークルです。ショッピングや施設の割引で優待、無料健康相談などさまざまなサービスをご利用いただけます。



名産品プレゼント



大相撲観戦



絵手紙教室

教育資金贈与専用口座・ゆめみらい

お孫さまなどへの教育資金贈与の際に、1,500万円まで非課税となる預金口座です。贈与の対象期間が平成31年3月末まで延長されました。

LINE@配信中!

紀陽銀行からのさまざまなキャンペーン情報や楽しい地域情報などをみなさんにお届けします! ぜひ、お友だち登録してくださいね!

簡単に登録出来るね。

LINEでわくわく、ドキドキ。

地方創生に向けた取り組み

「地方創生推進プロジェクトチーム」を組成し、地方自治体や教育機関、民間企業の皆さまと連携しながら、地方創生のためのさまざまな施策を展開しています。

一般社団法人ノオトとの連携による「わかやま古民家活用ワークショップ」の開催

当行は古民家等を活用したまちづくりのノウハウを持つ一般社団法人ノオトと連携し、営業エリア内の古民家等を活用した地域活性化支援に取り組んでいます。その一環として、平成28年10月18日に「わかやま古民家活用セミナー」、平成28年11月29日と12月15日には「わかやま古民家活用ワークショップ」を開催し、延べ171名の皆さまにご参加いただきました。和歌山県内の古民家等の活用を実際に検討されている方を対象に、古民家等を活用したまちづくりにおける宿泊施設や飲食店などの事業化に向けたプラン策定を行いました。



「投資型クラウドファンディング」を活用したお取引先の支援

平成27年より、事業者の皆さまの販路拡大支援のひとつとして、インターネット上で個人投資家からの事業資金調達などを行う「投資型クラウドファンディング」の紹介業務を取扱っております。平成29年2月には、当行のお取引先である和歌浦地域の水産加工会社と白浜町の温泉供給会社のファンドがそれぞれ組成されました。

また、当行は事業者の皆さまのクラウドファンディング活用による販路拡大を支援するため、和歌山県・和歌山市が行うクラウドファンディング活用支援事業へも参画しております。



「わかやま地域活性化ファンド」第2号案件の投融資を実行

平成26年1月に設立した「わかやま地域活性化ファンド」は、当行が株式会社地域経済活性化支援機構等と連携し、和歌山県内の観光関連事業への支援を行うものです。平成28年10月17日、その第2号案件として和歌山県白浜町の宿泊施設への投融資を実行いたしました。施設の耐震補強工事と併せて行う改修工事等の成長領域に投融資を行うもので、白浜温泉や白良浜など豊富な観光資源に新たな魅力を提供し、観光客数の増加と白浜地域全体の経済活性化を支援いたします。



「地方自治体と連携した住宅ローン」の取扱い

平成27年より「地方自治体と連携した住宅ローン」の取扱いを行っています。これは、連携する自治体へ移住・定住を考えられているお客さまに向けて、金利引き下げ幅を拡大した住宅ローンをご提供するものです。本商品の取扱いにより、地方自治体が推進する移住・定住促進活動の後押しを行います。

地方自治体と連携した住宅ローンの取扱状況

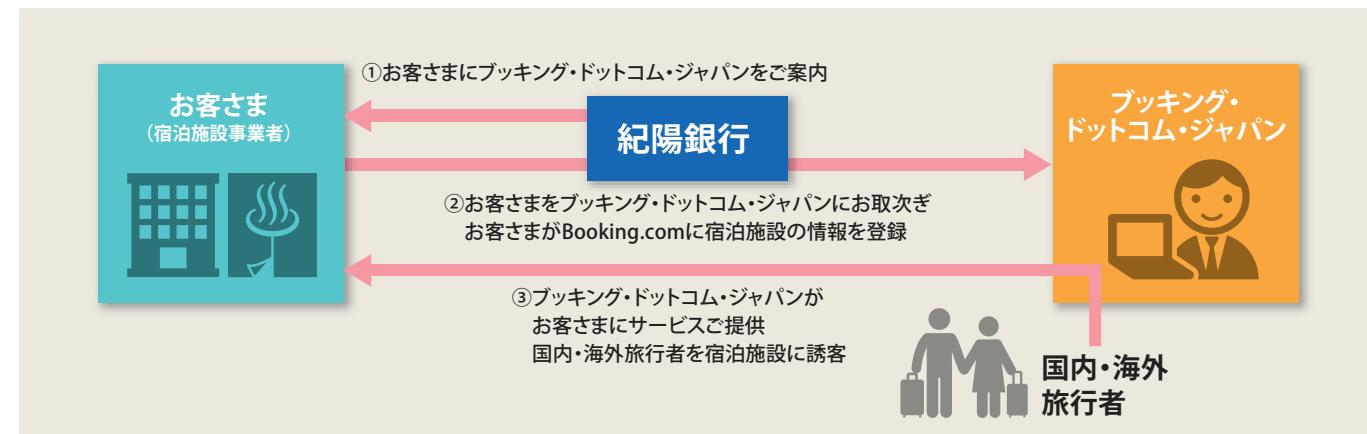
取扱開始日	地方自治体名
平成27年9月10日	和歌山県
平成27年9月11日	大阪府泉佐野市
平成27年10月1日	奈良県五條市
平成28年2月8日	和歌山県橋本市
平成28年2月8日	和歌山県有田市
平成28年6月1日	和歌山県有田郡湯浅町
平成28年6月1日	和歌山市
平成28年6月15日	大阪府泉南郡岬町
平成29年1月10日	大阪府貝塚市
平成29年4月3日	大阪府河内長野市

(平成29年6月1日現在)

「ブッキング・ドットコム」との業務提携

平成29年5月1日より、オランダのBooking.com B.V.と業務提携し、インバウンド対策支援に取り組んでおります。Booking.com B.V.は、40言語以上に対応し、227の国と

地域をカバーした世界最大のオンライン宿泊予約サイト「Booking.com」の開発・運営会社であり、旅行スタイルやニーズに合った宿泊施設を最安値保証・予約手数料無料で提供しています。本業務提携により、当行営業エリア内のお客さまの宿泊施設の魅力を国内はもとより世界中の旅行者に発信いたします。なお、Booking.com B.V.との業務提携は国内銀行初となります。



「産業調査レポート」の発行

当行では、これまで主に行内向けに産業調査レポートを発行し、事業者の皆さまへのリレバ活動に役立ててまいりましたが、今回、行内外でより有効に機能する情報ツールとして内容を刷新いたしました。レポートは業界知識や最新動向などをとりまとめており、お客さまにビジネスデータとしてご活用いただくことが可能です。

すでに発行済みの「医療業界レポート」、「観光業界レポート」などに続いて今後もさまざまな産業領域を取り上げていく予定です。

「HACCPの義務化に向けた食の安全・衛生管理セミナー」の開催

平成29年5月、食品関連事業者の皆さまに向けて「HACCP^(※)による衛生管理手法の義務化に向けた食の安全・衛生管理セミナー」を開催いたしました。国際的な衛生管理のガイドラインであるHACCPは、欧米などへの食料品輸出において既に必要とされていますが、わが国においてもその手法が義務化される方向性が示されています。セミナーではHACCPの概要紹介とともに、食品衛生・管理の具体的なノウハウのご提供等も行いました。



(※) HACCP = Hazard Analysis and Critical Control Point
邦訳は「危害分析重要管理点」。食品の安全性を向上させるシステムとして欧米などでは義務化されており、わが国でも平成28年12月に厚生労働省が食品関連業者に義務化を図る方針を示しました。

CSR活動

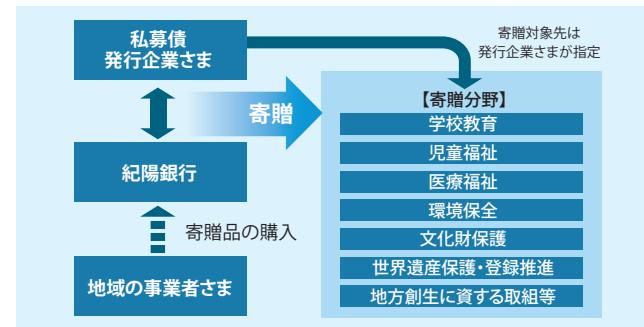
紀陽フィナンシャルグループでは、数々の社会貢献活動に取り組んでおります。

商品を通じた取り組み

地域の企業の皆さまとともに 「紀陽CSR私募債」の取扱い

当行では、平成28年6月より、地域の企業の皆さまと共同で取り組むCSR活動として「紀陽CSR私募債」の取扱いを行っております。

私募債は、財務内容が優れた企業さまが資金調達をする仕組みのひとつであり、発行企業さまにとっては信用力の向上を図ることができるとともに、CSR活動への取り組みの幅広いアピールが可能です。取扱い開始より、お客さまから高い関心をいただき、数多くの企業さまの私募債を受託しております。



バリアフリーへの取り組み

安心して暮らせる社会を願って 障がいのあるお客さまへの対応

すべてのお客さまに安心してご利用いただける銀行を目指して、バリアフリーに取り組んでおります。目の不自由な方にもテンキーの操作によってご利用いただけるよう、すべてのATMに音声案内装置付きの受話器型附属機器を設置するほか、お取引明細などの点字通知サービスを実施しています。

また、コミュニケーションボードと耳マーク表示板を全店に設置しています。

地域の金融教育への取り組み

現場の経験と知見を学生に 和歌山大学、和歌山高専での講義

和歌山県が実施している「産業人材育成支援事業」の一環として、和歌山大学で当行役員が「和歌山企業トップ経営論」の講義を行っています。また、和歌山工業高等専門学校においても行員が講師を務め、「企業実践講座」を展開し、現場の体験・知見を活かした金融教育のサポートを行っています。



お金の基本を高校生に 金銭基礎教育授業 「MoneyConnection®」

高校生を対象とした金融教育の一環として、金銭基礎教育プログラム「MoneyConnection®」に協賛しております。「MoneyConnection®」の公認実施団体である特定非営利活動法人キャリア・ファシリテーター協会と連携し、地域の高校で認定講師による出張授業を展開。「働くこと・お金・人生設計」について学ぶ機会を提供しています。



環境保全への取り組み

美しい自然を未来へのこす 和歌山県「企業の森」事業

紀陽銀行では、和歌山県が森林の環境保全を目的に実施している「企業の森」事業に平成18年より参画しています。毎年、行内でボランティア参加者を募り、森林の保全活動を行っており、平成28年11月には、和歌山県田辺市の「紀陽の森」において、役職員118名がウバメガシなどの苗木の植栽に取り組みました。



世界遺産を守り伝える 熊野古道の参詣道環境保全活動

和歌山県が誇る「世界遺産」熊野古道は、台風や雨による被害にたびたび見舞われています。当行では、熊野古道の参詣道の傷みを修復し、その価値を守り次の世代へ伝えていくために、役職員参加によるボランティア活動に取り組み、道普請（土の補充）を中心とした活動を続けています。



芸術・文化・スポーツを通じた取り組み

地域に芸術の感動を 紀陽コンサートの開催 美術館・博物館への無料ご招待

平成7年に設立された一般財団法人紀陽文化財団は、優れた芸術と文化の普及による豊かな地域社会の創造を目指しています。年2回開催している「紀陽コンサート」は、毎回ご好評をいただいております。平成29年1月29日には、ソプラノに中嶋彰子さん、ピアノに青木ゆりさんをお迎えした演奏会を行いました。

また、和歌山県立近代美術館・博物館との提携により、特別展などへの無料ご招待も実施しています。

スポーツの楽しさを子供たちへ伝える バスケットボールクリニック

紀陽銀行の女子バスケットボール部「紀陽ハートビーツ」は、「スポーツを通じた地域社会の皆さまへの貢献」を目指しており、日々のトレーニングに加えて、地域の小中高校生を対象にバスケットボールクリニック（ジュニアへの指導）を展開しています。平成28年度は、全国大会で特に優秀な成績を挙げた団体に授与される「和歌山県スポーツ賞」を受賞いたしました。これからも、地元へ愛されるチームとして活動を続けてまいります。

なお、「バスケットボールクリニック」を希望されるチームを募集しております。ご希望の際には下記までご連絡をお願いいたします。

◎お問い合わせ先
紀陽銀行 人事部内
紀陽ハートビーツ
事務局
担当:金谷(かなや)
TEL 073-426-7136
(平日9:00~17:30)



紀陽銀行(連結)

第207期末 連結貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

単位:百万円

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	671,707	預金	3,822,913
買入金銭債権	799	譲渡性預金	118,766
商品有価証券	123	コールマネー及び売渡手形	208,500
有価証券	1,305,660	債券貸借取引受入担保金	180,206
貸出金	2,812,871	借入金	245,410
外国為替	2,156	外国為替	25
その他資産	39,140	社債	10,000
有形固定資産	36,224	その他負債	50,018
無形固定資産	5,262	退職給付に係る負債	20
退職給付に係る資産	12,769	役員退職慰労引当金	32
繰延税金資産	777	睡眠預金払戻損失引当金	1,133
支払承諾見返	9,062	偶発損失引当金	497
貸倒引当金	△ 26,095	繰延税金負債	5,895
		支払承諾	9,062
		負債の部合計	4,652,481
		(純資産の部)	
		資本金	80,096
		資本剰余金	2,311
		利益剰余金	100,802
		自己株式	△ 881
		株主資本合計	182,328
		その他有価証券評価差額金	27,186
		繰延ヘッジ損益	△ 46
		退職給付に係る調整累計額	5,133
		その他の包括利益累計額合計	32,273
		新株予約権	52
		非支配株主持分	3,323
		純資産の部合計	217,978
資産の部合計	4,870,459	負債及び純資産の部合計	4,870,459

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第207期 連結損益計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

単位:百万円

科目	金額
経常収益	75,485
資金運用収益	48,691
うち貸出金利息	(34,179)
うち有価証券利息配当金	(14,005)
役員取引等収益	13,023
その他業務収益	8,149
その他経常収益	5,621
経常費用	61,923
資金調達費用	3,504
うち預金利息	(2,318)
役員取引等費用	4,250
その他業務費用	8,655
営業経費	39,482
その他経常費用	6,029
経常利益	13,562
特別利益	16
特別損失	326
税金等調整前当期純利益	13,252
法人税、住民税及び事業税	1,361
法人税等調整額	734
法人税等合計	2,096
当期純利益	11,156
非支配株主に帰属する当期純利益	127
親会社株主に帰属する当期純利益	11,028

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

紀陽銀行(単体)

第207期末 貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

単位:百万円

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	671,678	預金	3,829,914
買入金銭債権	799	譲渡性預金	128,766
商品有価証券	123	コールマネー	208,500
有価証券	1,308,015	債券貸借取引受入担保金	180,206
貸出金	2,820,552	借入金	245,410
外国為替	2,156	外国為替	25
その他資産	25,249	社債	10,000
有形固定資産	36,329	その他負債	39,987
無形固定資産	4,772	役員退職慰労引当金	32
前払年金費用	5,388	睡眠預金払戻損失引当金	1,133
支払承諾見返	9,062	偶発損失引当金	497
貸倒引当金	△ 22,837	繰延税金負債	3,541
		再評価に係る繰延税金負債	45
		支払承諾	9,062
		負債の部合計	4,657,123
		(純資産の部)	
		資本金	80,096
		資本剰余金	654
		資本準備金	259
		その他資本剰余金	394
		利益剰余金	97,186
		利益準備金	5,096
		その他利益剰余金	92,089
		繰越利益剰余金	92,089
		自己株式	△ 881
		株主資本合計	177,056
		その他有価証券評価差額金	27,000
		繰延ヘッジ損益	△ 46
		土地再評価差額金	104
		評価・換算差額等合計	27,059
		新株予約権	52
		純資産の部合計	204,167
資産の部合計	4,861,291	負債及び純資産の部合計	4,861,291

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第207期 損益計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

単位:百万円

科目	金額
経常収益	67,389
資金運用収益	48,668
うち貸出金利息	(34,161)
うち有価証券利息配当金	(14,000)
役員取引等収益	10,628
その他業務収益	3,117
その他経常収益	4,975
経常費用	55,244
資金調達費用	3,504
うち預金利息	(2,318)
役員取引等費用	4,855
その他業務費用	4,690
営業経費	37,350
その他経常費用	4,843
経常利益	12,145
特別利益	16
特別損失	491
税引前当期純利益	11,670
法人税、住民税及び事業税	1,011
法人税等調整額	454
法人税等合計	1,466
当期純利益	10,204

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

役員一覧

(平成29年6月29日現在)

取締役会長(代表取締役)	片山博臣
取締役頭取兼頭取執行役員 (代表取締役)	松岡靖之
取締役専務執行役員	島慶司
取締役常務執行役員	爲岡英喜
取締役常務執行役員	竹中義人

取締役上席執行役員	日野和彦
取締役上席執行役員	明楽泰彦
取締役上席執行役員	吉村宗一
取締役上席執行役員	原口裕之

取締役 監査等委員	葉糸正浩
取締役 監査等委員	田村和也
取締役(社外) 監査等委員	水野八朗
取締役(社外) 監査等委員	山野裕
取締役(社外) 監査等委員	山中俊廣
取締役(社外) 監査等委員	西田恵

上席執行役員	安行一浩
執行役員	崎山和彦
執行役員	山本敏樹
執行役員	横山達慶
執行役員	楠本真也
執行役員	丸岡範夫

